（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　双葉			
○保護者評価実施期間	2026年3月1日	～	2026年3月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26	（回答者数）	23
○従業者評価実施期間	2026年3月1日	～	2026年3月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　4月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各家庭ごとではなかなか取り組むことができない、大きな規模のイベントの企画実施をしており、多岐にわたる活動に取り組むことで応用力をつけることができる。	季節ごとのイベントを毎年同じ時期に行い、生徒、保護者ともにある程度の計画ができるようにしている。	毎年同じイベントに参加しても、新しい学びがあるように新しい取り組みをしていく。経験者が初心者に教えて伝えていく流れを強化する。
2	男性職員、若い職員が多いため、体力作りやスポーツ、農業、工作、PC、バンド活動など幅広い支援内容を提供している。	どの活動においても、基礎を固めるまで、楽しくさらにわかりやすく学ぶことを目指している。学ぶハードルを低くすることでやる気につながるようにしている。	取り組みの動画を記録しておくことで、成長が見えるようにし、他の生徒が初めて取り組む時に活用する。
3	将来の自立した生活、就労につながるような活動を中心に組み立てている。	食料自給率の向上、自給自足、農業従事者の増大につながるよう、放課後デイの段階である程度の経験と知識が身につくようにプログラムを組んでいる。	実際の就労現場と連携して、将来の自立に必要なイメージが持てるような場を増やしていく。保護者への説明や体験会の開催を増やす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の中には、保護者同士の交流や意見交換をしたいと感じているが、そのような場が多くないと感じている保かたがいる。	保護者参加型のイベントを行なっているため、それを交流の場として積極的に活用できるようにアナウンスが足りていない。	イベントの日に、保護者交流の時間を設け、保護者が意見交換したい内容を事前にヒヤリングして、当日の議題にする。進学についてなど、経験者の保護者にお願いして、経験談をお話ししてもらう。
2	毎日の活動内容や訓練など、実施している内容が伝わっていないご家庭がある。とくに帰りの引き渡し時にお話ができない家庭では伝えきれていない。	毎日の様子はブログで確認ができ、また送迎時には伝えるようにしているが、それ以外にも発信方法が用意できると良い。	WEBサイトに項目を追加し、避難訓練やイベントの情報を掲載する。定期的に情報発信の会報を作るなども必要かもしれない。
3	イベントの予定が突発的と感じる保護者がいる。農業を中心とした取り組みにおいて、時期のずれや遅れが発生する場合がある。また、案内が直前になる場合がある。	農作物に関するイベントは、天候や栽培ミスによる失敗、その年の出来などにも左右されるため、予定通りの日にちにイベントを開催できないことがある。	栽培場所や時期を複数に分けて、予想外の事象に備える。バックアップ案を用意する。イベントの案内の際にあらかじめ予定変更の可能性を周知しておく。